

問

消防体制強化の今後の考えは

町長

消防の定員は確保し体制強化を

訓子府消防団

問 行政として消防団活動の課題をどう捉えているのか。

町長 消防団員の確保が喫緊の課題となっている。現在の実員は90名、充足率86%である。

問 90名中、役場職員が占める人数は。

町長 また、団と仕事の両立で弊害などはなかったのか。

町長 現在の入団者数は19名である。

町職員として災害活動が求められる場合、消防団より職場の災害業務が優先され、団活動に従事できないこともある。

問 署員と団員の交流が少ないと聞いているが。

町長 署員に分団担当を割り当て、各分団に担当者がお邪魔し交流を深めていきたい。



町民のみなさんの安全を守っている消防団

問 事故があった場合の心のケアは。

町長 災害現場や活動後に個別の聞き取りを実施している。

命に関わる救命講習

問 救命講習の実施内容は。

町長 大勢の事業所であれば、伺って実施している。少数の場合は、消防支署の研修室で実施している。

また、消防本部で毎月9日に行っており、

町長 小中学校で救命講習などは行っているのか。

町長 平成30年に中学2年生を対象に行った。今後、進めていきたいと考えている。

問 自主防災組織で救急講習は行っているのか。

町長 実施していない。

消防行政のこれから

問 消防行政を、自賄い方式から委託方式に変えていく考えは。

町長 北見地区消防組合では、本部経費の一部を除く消防設備などの整備を構成市町が負担する自賄い方式をとっている。

業務委託した場合に、地域の消防力実態と地元負担のバランスが崩れることや、消防事務の運営に関し町や住民の意見が反映しづらいことが懸念される。



十分な安全対策で訓練を行っています

問 今後町の職員として防災担当など違うスキルを身につけることも必要ではないか。

町長 また、学校や研修などで人員が減ることもありますが、消防職員の増員など消防体制の強化を図るなどの考えは。

町長 防災担当は人員的にいえるかどうかの問題もある。消防の定員は確保し、町民の安心安全を守るために体制整備を行っていきたい。

このほかに「GIGAスクールについて」の質問をしました。



谷口 武彦 議員

消防署員のみなさんの頑張りにもいつも感謝しています

訓練の安全対策

問 北見市の消防で訓練中に事故があり、本町の安全対策は万全か。

町長 災害現場・訓練中の安全監視員の適正配置と安全装備品の完全装着の徹底など安全管理に努めている。

